事例No.	1354
公表年度	R2
団体の属性	町村
団体名	北海道東神楽町

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・公共施設活用 ・地域運営組織

事例種類	集約化・複合化事業

事例内容・タイトル

複合施設整備事業

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

集約化・複合化事業 ⑨

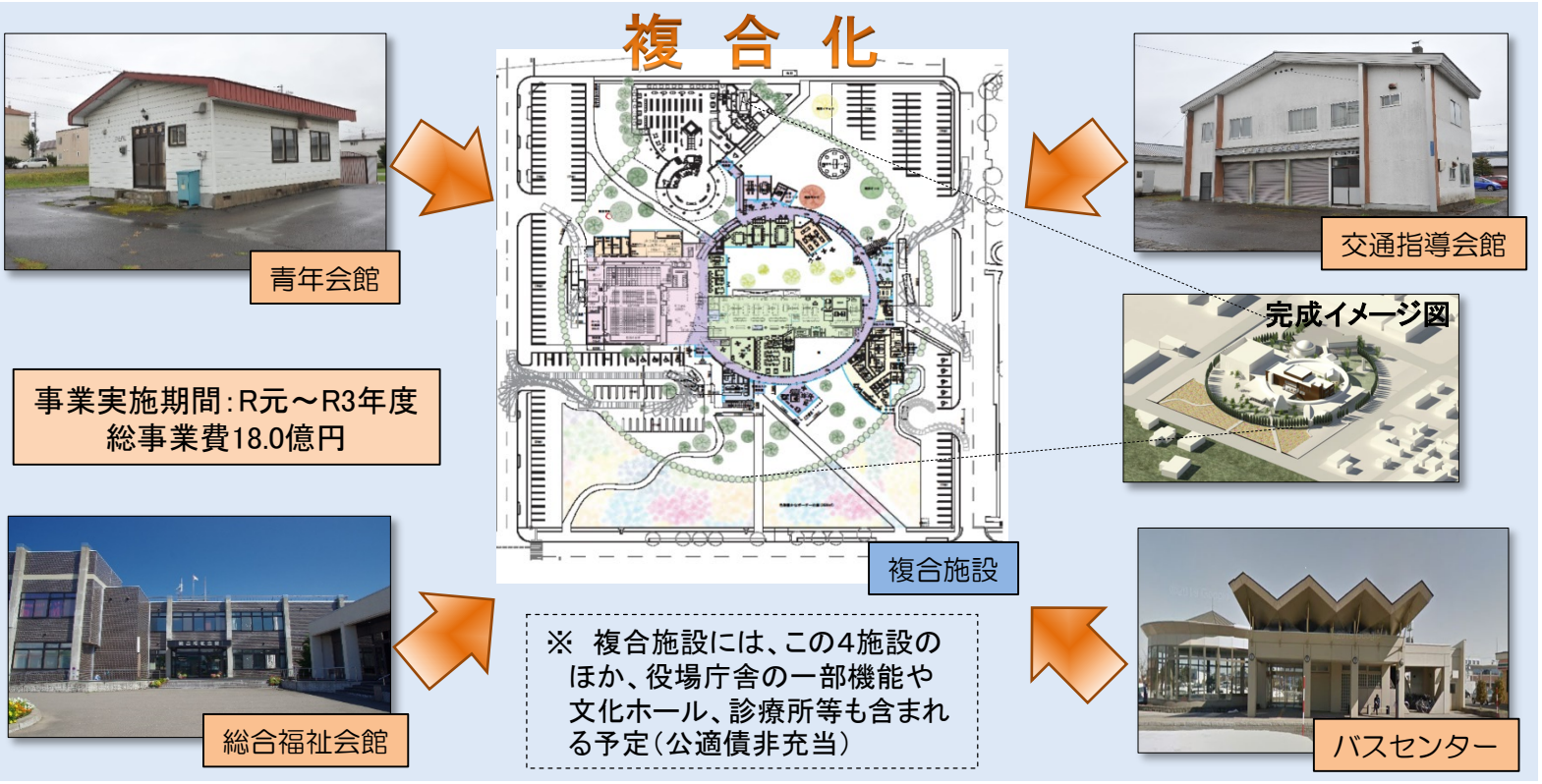
事業の概要

北海道東神楽町（人口１．０万人）「複合施設整備事業」

昭和40年代頃から中心市街地に建設されている公共施設のうち、老朽化し、または現行の耐震基準を満たしていない施設について、よりコンパクトなまちづくりのため、各機能を集約して複合化する。

事業のポイント

- 中心市街地において、特に、老朽化し耐震性の確保が必要となる公共施設について、複合化を実施。
- この検討に当たっては、20名の町民で構成する検討委員会を設置し、基本構想や基本計画の策定に際して同委員会から意見を聴くなど、住民との連携を重視した。



事業の効果

○　町のシンボル（顔）として、施設整備と併せ、隣接の公園や沿道と一体の空間整備を行うことで、街並みをリードする景観を形成する。また、バスセンターの複合化により、交通拠点としての機能も加えることで、にぎわいの創出を図る。

○　町では、複数施設を複合化することで、整備費や今後60年間の維持管理費も含めたコストが約5.7億円削減されるものと試算している。